

2016Japan National Team Report ” コーチ ”



報告者氏名	佐藤 麻衣子
大会名	2016 ヨーロッパ選手権大会
開催地	イタリア・クロトーネ
大会期間	2016年7月15日~22日

- 帰国後1ヶ月以内に、JODAチームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要です(文中に貼り付けて下さい)
 2. 他国OP艇を接近して撮影する際には、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい

チャーター艇 メーカー	Blue blue ・ f1foil Optimax MK4	艇・スパー・フォイルはワールドで	使用したものをそのままイタリアに	持ってきていました。	
----------------	-----------------------------------	------------------	------------------	------------	--

気象について	ほとんど晴れてました。日差しが強く、乾燥しすぎて、陸地で自然発火してました。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	西・南西の風では波が大きくなりました。ほぼ海風なので、大きな風の変化は少なかったです。
帆走指示書内容で特記事項	特になし
コーチポートについて	ベルギーチームとシェアしました。 練習の日も別々の時間だったので、船を借りることができました。 大変親切にもらいました。

以下、日本チームより上位の選手、国について記入して下さい

選手の特徴、体格	体の大きな選手からまだ体の小さい選手までの男子4名、女子1名です。
機装品について	特に海外の選手と比べて違ったところはありませんでした。たまにメインのテークルを増やしている女の子などを見かけました。
セッティング等	海外の選手と比べて特別に違う感じには見えませんでした。
海上での練習方法	レース前はゲートスタートからのレース練習。風の強弱や変化などに気をつけるようにしました。
セーリング技術	船を走らせる技術については、個々の得意とする風域ではスピードは負けてないと思います。スタートも上手く出れるときもあります。マーク回航等は問題ないと思います。
戦術、戦略など	レース前に考える戦術的なところは少しできてないようでした。レース中に戦術の変化等が必要な時に、上手にできてなかったかもしれません。 レースの中での1対1などは良かったかもしれません。
日本選手が劣っていること	スタート40秒前くらいからの位置取り、スピードの加速。1分前まではいいところで待っているものの、最後の最後で出れないことが多かった。スタートで出れてしまうといいポジションで走っていたようです。 風待ちなどが長くなると、どうしてもその後のレースで集中力が切れやすくなること。
日本選手が勝っていること	チームで仲良くしているところ。いろいろ協力できるところ。
日本チームとしての課題	しっかりした目標設定をすること。 選手自身が大会に対してもっと興味を持って参加すること。(日程等や場所などの把握をしっかりするなど) 一人のセーラーとしてもっと自立すること。
JODA への要望	2次選前や2次選後にもっと合宿等を増やして、高いレベルの練習ができるといいと思います。
その他	ヨーロッパのチャーターボートはワールドで使用したもののなので、ということで、チャーター艇で参加しているチームの艇本の計測は行いませんでした。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会